

平成 27 年度 第 2 回鉾田市総合教育会議 議事録

1 日 時 平成 27 年 11 月 24 日 (火) 開会 15 時 30 分 閉会 16 時 20 分

2 会 場 旭総合支所 2 階 会議室

3 出席者 鉾田市長 鬼沢 保平
鉾田市教育委員会
教育長 鬼澤 明
委 員 石山 ちい子 (教育長職務代理者)
委 員 田口 裕之
委 員 関根 勝美

【説明員】

教育部長	根本 研司
教育部 参事兼指導課長	狩野 秀彦
教育部 教育総務課長	大場 涉
教育部 生涯学習課長	宮内 一成
教育部 教育総務課 新しい学校づくり推進室長	長峰 道男
教育部 教育総務課長補佐	宮本 三郎
教育部 教育総務課係長	堀田 勝雄
総務部 財政課長	二重作 勝

【事務局】

総務部長	小野瀬武彦
総務部 総務課長	関谷 公律
総務部 総務課長補佐	新堀 栄寿
総務部 総務課行政係長	佐藤 嘉雄

4 議事の概要

○開 会 (司会：関谷総務課長)

○鬼沢市長あいさつ

本日は、ご案内申し上げたとおり、今後の市の教育のあり方を定める「教育大綱(案)」について、皆さまにご審議をいただき、決定していきたいと考えております。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

○協議事項(議長：鬼沢市長)

(1) 鉾田市教育大綱(案)について

(教育総務課 宮本補佐より説明)

【議長：鬼沢市長】ただいま説明がありましたが、ご意見等あればお願いします。

【鬼澤教育長】子どもの教育では、学校教育のほか幼児期における教育が重要である。よって、福祉部門とも今後より密に協議が必要であると感じる。

【石山委員】大綱案5ページの「教育施設・設備の整備」について、現在ICT化はどの位進んでいるのか。

【宮本教育総務課長補佐】平成26年度から3年間を目標に現在整備を進めており、昨年度はタブレット端末を270台整備した。今後も、順次整備を進める予定です。

【石山委員】ICT化に向けた教員への教育はどの様になっているか。

【宮本教育総務課長補佐】学校ごとに、納入業者とシステムに関する打合せ及び研修を随時行い、資質の向上に努めている。

【石山委員】図書館と連携するとは具体的にどの様なことか。

【宮本教育総務課長補佐】各学校の図書にバーコードを貼付し、市立図書館等とシステムで繋ぐことで、生徒が読みたい本がどこにあるのかを、パソコン等で検索することができるようにしていく事を考えています。

【田口委員】大綱(案)では、「健全育成」を挙げているが、幼児虐待等が増えている中で、ソーシャルワーカーとの連携等は考えているか。

【狩野指導課長】現在、県の事業を活用しソーシャルワーカーを市へ派遣していただき、問題事案の解決に向け対応していただいているところです。問題の解決については、1つの事案を最後まで同一のソーシャルワーカーにお願いできるよう県には要請しており、その様に対応していただいています。

【石山委員】ソーシャルワーカーとは、いわゆる「社会福祉士」だと思うが、市にもその様な方がいると思う。その方は頼めないのか。

【狩野指導課長】福祉部門の方だと思うが、頼めれば幸いと思っている。

【議長：鬼沢市長】その他にご質問等ありますか。ご意見も無いようですので、本日本日の協議事項は、全て終了となります。本日は、貴重なご意見をいただきありがとうございました。次回の会議をもって最終的に大綱を決定したいと思いますので、よろしくをお願いします。以上で議長の職を解かせていただきます。ありがとうございました。

○その他

【司会：関谷総務課長】続きまして、4. その他に移ります。11月は予算要求時期ということもありまして、本日は、「平成28年度の予算編成方針」について、財政課長より説明しますのでよろしくお願いします。

(二重作財政課長より説明)

【田口委員】資料中に、「スクラップアンドビルド」とあったが、具体的にはどのような手法か。

【二重作財政課長】基本的に新規事業を予算化する際には、昨年度の予算以上に見積もるのではなく、対象事業を一から見直ししていただき、現在行っている事業を廃止する等して、それを新規事業へ充てるという意味です。

【鬼沢市長】今回の「まち・ひと・しごと総合戦略」では、地方創生に向けた様々な政策を考えているが、他の市町村に比べ、鉾田市は子育て予算が少ないと思っている。よって、予算作成にあたっては、これらをアピールしていきたい。

【鬼澤教育長】今後、小学校の再編も続くことから、子供達にプラスとなるよう応援をよろしくお願いしたい。

次回の第3回総合教育会議の予定は、平成28年1月25日（月）となる。

○閉 会